

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司
発行元：座間市相模が丘3-24-2-203
連絡先：046-204-5911 (ファックスも同じ)

おぎはら健司の市政レポート

予算議会もいよいよ大詰めです！

平成27年第一回定例会も、いよいよ23日の議会運営委員会と25日の本会議を残すのみとなりました。25日の最終日には、各会派代表者による「討論」が行われます。

討論とは、上程されている議案に対する会派としての考えを述べながら、他会派の議員へ「賛成」や「反対」を呼びかける、会派毎の議案に対する評価と言えます。第一回定例会は、新年度当初予算をはじめとする重要議案が多く、会派代表者などベテラン議員が行う事が多いのですが、一昨年の第一回定例会に続いて今年も私が討論を行う事となりました。登壇順は、当日の朝くじ引きで決めるので、出来れば1番くじを引きたいと気合が入っております。

さて、前号では新年度予算の特長は、財政調整基金(自治体のへそくり)を使い、国や県からの交付金等を最大限活用したとご紹介しましたが、今定例会では国の平成26年度補正予算「地域住民生活等緊急支援」や「地方創生」を狙いとする補助金についても、座間市平成26年度補正予算として計上されています。

目玉施策は『プレミアム付き商品券』です。これは、1万円の商品券に20%の「プレミアム」を付加し、1万2千円分の買い物が出来るというもので、プレミアム分2千円には国からの補助金を充てるというものです。事業の詳細については、新年度に入ってから検討し、6月以降に市の広報等で発表される予定ですが、特に相模が丘周辺地域に経済効果があるよう、小田急相模原駅をご利用される皆様には分かり次第、このレポートでもお知らせしたいと思います。

他にも、地方創生予算関連補正では、介護従事者不足に対応するための介護資格取得のための補助金や、保育園等で防災訓練や防災講演会を実施する中で幼児・乳幼児のための防災用品の備蓄などに充てるための予算が、平成26年度補正予算として計上されています。

話はガラリと変わりますが、相模が丘地域の

市民の皆さんのみならず、13万市民が待望していた「相模が丘仲よし小道」再生整備事業が、全1,610㎡の工事が完了し、去る3月15日に完成式典が挙行されました。

皆さんも、すでに通勤等でご利用されていると思いますが、県内のみならず県外からも多くの方々に視察に来て頂けるような、素晴らしい緑道と、市民団体(NPO法人)との協働による維持管理の仕組みが完成しました。

本事業は平成21年度の基本設計からスタートしましたが、基本設計・実施設計・4カ年に亘る工事費等の費用総額は合わせて3億7千万円余となりますが、基本設計分の約270万円を除いた部分の財源には「再編交付金」が充てられています。

この交付金は、在日米軍再編に関係する自治体に交付されるもので、座間市ではキャンプ座間へ在日米陸軍司令部が移駐することにより交付され、平成20年度から平成28年度までの9年間、総額9億円ほどが交付されます。その当時は『アメとムチ』などと揶揄されましたが、座間市がどれだけ反対したとしても、国の防衛戦略上、キャンプ座間が他の自治体へと移転する事は現実的ではなく、それならばという事で受け入れるからには米軍基地がある事に対する市民への負担軽減をという観点から、交付金を受領し、更なる負担軽減策として最短で来春開業予定となる民間病院への用地提供を可能とするスキームが完成した次第です。

現実を見据えた施策の推進に励んで参りたいと思います。



仲よし小道に設置された、ざまりん遊具です(^ ^)

3月26日の県知事選告示以降は、投開票日の4月12日まで公選法により、議員の広報活動が禁止になるのでオダサガ駅頭での活動はお休みします。